

第 16 回いい川・いい川づくりワークショップ in 白山手取川 応募者（発表者） 各位

別紙タイムテーブルや会場案内図、以下の「発表に当って」をご確認の上、当日ご参加頂きますようお願い致します。

●発表に当って ※別紙タイムテーブル(案)とあわせてご確認ください

《 発表の機会 》

- 発表の機会は2回あります。最初は、開会式・全体集会の後、テーブル選考（一次選考）に先立って行なわれる ①全体発表会（全エントリー団体）、2日目の②全体選考の発表（テーブル選考と復活選考で推薦された団体）で、いずれも全体会場のステージでの3分間の発表です。
- このほかにアピールできる場として、2日目朝に行われるポスターセッション形式の ③復活選考があります。

《 ①全体発表会（1日目）・②全体選考 発表（2日目）の共通事項 》

- 発表の時間は 1 団体につき3分です。1 分前、30 秒前に残り時間を示しますので、時間厳守でお願いします。最もアピールしたいことに的を絞った発表を心がけましょう。
- 発表のみで、その場での質疑はありません。プログラムに表示するテーブル選考の6 テーブル（A～F）のA テーブルから順次行ないます。当日プログラムで発表の順番を確認し、アナウンスに従って所定の場所に速やかに移動してください。
- 発表には発表用パネル（必須）のほか、映像等（パワーポイント、動画など）を使用できますが、全てを発表時間内に収めてください。伝えるチカラ、ユニークな表現や創造的な工夫は、このワークショップでの一つの大きなポイントとなります。
- 映像等を使用する場合、とくに動画の場合は、データを9月26日までに事務局にメール等で送ってください。パワポへの埋め込み動画や音声同時出力等で不具合が生じる場合があります。途中で映像が止まるなどトラブルがおきても、原則そのまま3分以内で発表を収めてください。パワーポイントやPDFのデータは、同様に事前送付（推奨）かUSBメモリスティックで持参してください（9/28 朝の受付時にお声がけください）。
- 発表時は、基本的に事務局のノートパソコンを使います。操作は、タイミングを指示していただき事務局にお任せいただくか、グループのどなたかがなさっても構いません。また、持参したノートパソコン等を利用して構いませんが、不具合等の責任は負いかねますので、ご了承ください。

《 テーブル選考（グループワーク）について 》

- 応募申込書（様式1）の「主に発表したいこと」等の内容を参考に、事前に事務局によりテーブル選考のグルーピングを行います。エントリー団体の地域や申込件数等の関係で、主に発表したいテーマとグルーピングが若干異なる場合があります。選考に支障ありませんが、予めご了承ください。テーブル選考の会場で、補足資料等を配布するなどは自由です。
- ①全体発表会の後、各テーブルに分かれて（1 テーブルにつき5 団体、6 テーブル）行ないます。テーブルコーディネーターの進行のもと、補足の説明や質疑とあわせ、グループ全体で議論します。選考員だけでなく、発表者どうし、それぞれの“いい川”、“いい川”づくりが光るポイント、タカラモノを発見、共有します。

《 ③ 復活選考での交流とアピール 》

- ・ 2日目(9/29)のスタート(9:10~)時に、テーブル選考で選外になったグループから、追加で全体選考(二次選考)に推薦する【復活選考】をポスターセッションで行います。会場の指定の場所に一斉に並べたパネルの前で、進行のアナウンスのもと、各自、投票者(2日目の選考に関わるコーディネーターとコメンテーター)へのアピールとともに、参加者とダイレクトに交流してください。

☆発表用パネル・当日移動、設置について

- ・ 発表用パネルは、選考員が投票シールを貼るなど、テーブル選考、復活選考、全体選考それぞれのプロセスで重要な役割を果たします。指示に従い、移動等にご協力ください(手助けが必要な場合はスタッフにお声がけください)。
- ・ 復活選考など、パネルを一斉に展示する際に使用できるのは、記入欄のついた1枚のみです。発表の際には複数枚のパネル等の使用が可能ですが、管理については発表者自身の責任でお願いします。

☆事前送付に関して

・ 受取可能期間：9月24日~26日 ※期間内必着

：送り先、送付にあたっての注意事項、終了後の返送手続きについては、別紙『発表用パネル等の送付、返送について』の内容を、よくご確認ください。

●選考の視点・評価のポイントについて(参考)

☆公開選考の場では短所を指摘することは控え、むしろ長所を発見し、誉めあうことにより、それぞれが抱える課題に対して知恵を分かち合うこと、お互いの目標に向けて励みと希望の気持ちをふくらませることを目的とします。気軽にのびのびとご参加ください!

選考の視点

- ・ 川の「タカラモノ」に光を当て、「“いい川” “いい川づくり” とは何か」を探ります。
- ・ 内容の長所を評価する加点方式とし、短所は減点の対象としません。
- ・ 公開選考会は、以下の4つの選考ポイントにおいて総合評価します。
 - 発想・着眼評価： “いい川” をめざすための斬新な発想や着眼、的確な視点についての評価
 - 関わり評価： 地域住民と川との豊かで良好な関わり合いについての評価
 - プロセス評価： “いい川” を育むための市民・住民参加や、さまざまな分野の人たちとの共働のプロセスについての評価
 - 計画・技術評価： 川らしさの保全や “いい川” 回復のために工夫された計画手法や採用技術についての評価